

秋の箱根 鎌倉古道を歩いてみよう 湯坂道

実施日 2012年11月25日(日)
 天候 晴れ
 リーダー 涌井 良明
 参加者 齋恵美子、友近洋子、佐藤金治、
 一柳昭、涌井良明、鈴木恵美
 子、安田三恵子、小村好江、
 石附智江、渋谷京子、中村友
 子、石原勝正、石附智子、熊本
 紗江子、G(石附恵理子) 計15名
 費用 新宿⇄箱根湯本 2,300円(小田急)
 タイム 箱根湯本(9:25)湯坂道入口(9:30)
 レイヤ・準備(9:40~9:45)休憩(10:07~
 10:15)湯坂山(11:10~11:15)浅間
 山(12:08~12:50昼食)鷹ノ巣山(1
 3:10~13:15)飛龍ノ滝(14:00~14:1
 0)畑宿(14:20)発電所仮橋(15:10~
 15:17)箱根湯本(16:20~16:38)

少し寒かったが、好天もあって秋の箱根を堪能できた一日となった。

3連休最終日で唯一の朝からの晴れ予報に箱根湯本駅は人の群れが溢れていた。

箱根と言えば乗り物！には頼らない。こぶし会は、朝から人通りの多い温泉街を抜けて日本土木遺産の旭橋を渡り、観光客が途絶えると左に浅間山への登り口を示す標識があり、湯坂道の入り口だ。あまり



霧囲気の無
い荒れ気味の狭
い坂道から始ま
り、少し広くな
った所で衣類レ
イヤの準備を
して、改めて
スタート。

面白みの無い急な登りを行く、所々に現れるまばらの石畳が古の道だったことを窺わせるが、この急傾斜ではその後の旧東海道開通後には、通る人も激減しただろう？150m程一気に高度を上げると傾斜も穏やかな道なる。木の根の多い緑の道をしばらく登ると、徐々に秋が見られるようになり、退屈な登りに色付きが楽しみを加えてくれるようになる。青空を背景に陽に透かして見る鮮やかさに歓声も上がる。同じよう



な傾斜でほぼ直線状に登って行き、小広い台地状の湯坂山を越す、変哲のない頂で導標も無かった。紅葉に慰められながらも相変わらず単調な登りが続き、ススキも見られるよ



うになって大平台からの道を合わせる。浅間山10分とあり緩やかに登り着くとカヤトの浅間山に着く。大勢の

ハイカーがお店を広げていた。我々も隙間を見つけ思い思いに秋の箱根のランチタイムになった。が、筆者は代わり映えの無いいつものヒルメシだった。

午後の部は鷹ノ巣山向かう道からとなった。緩やかに下って鞍部が千条ノ滝・小涌谷の分岐である、大きなゴールドトリリーが辺り一面にゴールドリーブを散りばめていた、ウーン！美しかデスネー！と、喜びも束の間とっても急な階段状登りになった、一気に高度が上がるが振

り返ると…金色と緑の山肌その奥に相模湾が、今日一番のビューポイントだろう。登り切って鷹ノ巣城趾とあ



る山頂でススキ越しに秋色の箱根外輪山がのぞめる。ここで集合写真に収まって、畑宿方面へ下山にかかる、ススキと紅葉の気分の和むような広い道緩く下り、植林帯の階段道から導標に導かれて左折、やや荒れ気味の下りで飛龍ノ滝にでた。見物橋の奥に紅葉に見え隠れして一枚岩から流れ落ちる上品な滝があった。箱根という巨大観光地ではやや山奥なので不遇な扱いを受けているかも。更に秋の色付きを楽しみつつ下り、小橋を渡ると町この音も近付きやがて畑宿へ。バスで湯本に向かう一部メンバーと別れて、湯本の迄の5^{キロ}+aを旧街道とバス道と交えつつ須雲川沿いに歩き箱根湯本駅へと戻り、秋の箱根路周回コースが完了した。

ライトではなくややハードになってしまいましたが、山の会なので(^o^)

でも、箱根の秋を満喫の一日だったでしょ！しかし畑宿**湯本は長かった、次があればバスにしよーね。

皆さん、長時間歩きに懲りずにまたご一緒くださいね！ チャン・チャン

(記&写真・涌井 良明)